

第 20 回「歴史認識と東アジアの平和」フォーラム・東京会議

2022. 11. 12 (SAT)・13 (SUN)

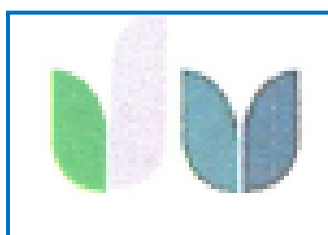
全国教育文化会館（エデュカス東京）

主催：「中日韓三国共同歴史研究中国側委員会」(China Committee for the Joint Study of the History of China, Japan and the ROK)

：「歴史認識と東アジア平和フォーラム」韓国実行委員会」(Historical Perception and East Asia Peace Forum Executive Committee at Korea)

：「歴史認識と東アジアの平和フォーラム」日本実行委員会」(Historical Perception and East Asia Peace Forum Executive Committee at Japan)

後援：「フリドリヒ・エーベルト財団」(FRIEDRICH EBERT STIFTUNG)



日程表（日本・韓国時間） 中国時間は、これにマイナス1時間

主 要 内 容	
開 会 式	
9 : 30 ~ 9 : 45	3国代表挨拶（各5分） 司会（日本 石山久男） 日本：内海愛子（日本実行委員会共同代表・恵泉女学園大学名誉教授） 中国：李細珠（中国社会科学院近代史研究所研究员） 韓国：イ・インソク（アジア平和と歴史教育連帯代表）
9 : 45 ~ 10 : 45	基調報告（各20分） 司会（日本 石山久男） 中：「戦争のない世界の実現のため、歴史的な経験に基づいた東アジアが果たすべき役割」 侯中軍（中国社会科学院近代史研究所研究员） 韓：「新冷戦の危機に戦争のない世界のための東アジアの役割」 イ・ジウォン（アジア平和と歴史研究所理事長） 日：「日中韓・沖縄・若者の平和の対話組織、『東アジアの国連』を市民の手で！」 羽場久美子（神奈川大学教授、青山学院大学名誉教授、世界国際関係学会アジア太平洋会長）
10 : 45 ~ 10 : 55	休 憩
第1セッション（揺れる国際秩序の中で東アジア平和の道を探る）	
10 : 55 ~ 12 : 25	報告（各30分） 司会（日本 野平晋作） 韓：「ウクライナ戦争と東北アジアで高まる軍事的緊張、市民社会の役割」 イ・テホ（参与連帯平和軍縮センター所長） 日：「東アジアの平和に道を拓く『北東アジア非核兵器地帯』の可能性」 渡辺洋介（NPO法人ピースデポ研究员） 中：「帝国主義バージョン2.0の含意と私たちの態度」 張生（南京大学教授）
12 : 25 ~ 13 : 25	昼 食 休 憩
13 : 25 ~ 14 : 55	指定討論（各15分以内） 司会（日本 野平晋作） 自由討論（各5分以内 45分） 韓：キム・ジョンズ（平和をつくる女性会常任代表） 日：末浪靖司（日本平和委員会常任理事） 中：臧运祜（北京大学历史学系教授）
14 : 55 ~ 15 : 05	休 憩
第2セッション（市民社会をめぐる課題と教育）	
15 : 05 ~ 16 : 05	報告（各20分） 司会（中国 赵立彬） 中：「環境史研究と環境保護との関係について」 史桂芳（首都师范大学历史学院教授） 日：「日本社会が突き進むSDGsとその課題」 大野新（大東文化大学文学部／地理教育研究会事務局長） 韓：「韓国のビックデータと人工知能政策と問題点」 オ・ビョンイル（進歩ネットワークセンター代表）
16 : 05 ~ 16 : 15	休 憩
16 : 15 ~ 17 : 15	指定討論（各10分以内） 司会（中国 張連紅） 自由討論（各5分以内30分） 日：柴田健（地理教育研究会理事） 中：左双文（華南師範大学教授） 韓：キム・ジフン（アジア平和歴史教育連帯 中国委員長）
17 : 15 ~ 17 : 25	休 憩

11/12
(土)

特別報告 (フォーラムの20年を振り返って)	
17:25~17:55	報告 (各10分) 司会 (日本 大谷猛夫) 中: 楊群 (社会科学文献出版社总编辑) 韓: アン・ビョンウ (韓国学中央研究院 院長) 日: 「フォーラムの20年間を振り返って」 笠原十九司 (都留文科大学名誉教授)
18:30~	レセプション 司会 (日本 鈴木敏夫) 式辞 日-韓
第3セッション (政治外交問題になった歴史論争)	
9:30~11:00	報告 (各30分) 司会 (韓国 イ・セヨン) 韓: 「強制動員被害者の『苦痛』そして『人権』と『尊厳』」 キム・ヨンファン (民族問題研究所 対外協力室長) 日: 「政治外交問題になった歴史論争-強制動員問題を中心に」 矢野秀喜 (強制動員問題解決と過去清算のための共同行動事務局) 中: 「歴史認識における政治的共通認識の維持に努力する-歩平『中日歴史問題と中日関係』再読後の考察」 袁成毅 (杭州師範大学教授)
11:00~11:10	休 憩
11:10~12:10	指定討論 (各10分以内) 司会 (韓国 イ・セヨン) 自由討論 (各5分以内 30分) 韓: ハン・ヘイン ((アジア平和歴史研究所 研究委員)) 日: 大八木賢治 (子どもと教科書京都ネット21、高校非常勤講師) 中: 刘萍 (中国社会科学院近代史研究所研究员)
12:10~13:10	昼食休憩 ※三国代表者会議 (12:40~13:10)
第4セッション (歴史認識の争点をめぐる授業実践)	
11/13 (日) 13:10~14:10	報告 (各20分) 司会 (日本 大谷猛夫) 日: 「植民地主義を問い直す…大学での実践」 関原正裕 (白梅学園大学非常勤講師) 中: 「私たちは抗日戦争期の日本軍の暴行を生徒にどう教えるべきか?」 劉朝暉 (广东省实验中学教师) 韓: 「小学校4年の子どもに日本軍『慰安婦』を話す」 安正恩 (ヒョンサン小学校)
14:10~14:20	休 憩
14:20~15:20	指定討論 (各10分以内) 司会 (日本 大谷猛夫) 自由討論 (各5分以内 30分) 日: 米山宏史 (法政大学中学高等学校) 中: 李慧慧 (北京市广渠门中学副校长) 韓: ファン・ウンヒ (ソウルチャンリム小学校)
15:20~15:30	休 憩
閉 会 式	
15:30~16:00	三国 (各10分以内) 司会 (日本 竹下忠彦) 中: 徐志民 (中国社会科学院历史理论研究所研究员) 韓: イ・シンチョル (アジア平和歴史研究所・所長) 日: 笠原十九司 (共同代表、都留文科大学名誉教授)